**第１６回観察会　2004年７月21日(水) 12:15～12:55　晴れ**

**『七月の植物園―木陰のいきものたち―』**

**☆ガイドレポート：植物編**

今月は３ヵ月ぶりに植物園での観察会となりました。今月は、真夏ということもあり夕涼みをもとめ、平日の勤務時間終了後の夕方から長めの観察会を希望して申請していました。しかし、「夕方５時以降は時間外である」として不許可となったため、急遽２１日の昼休みの開催を申請し許可を得ました。
広告期間が実質２日のみだったにもかかわらず、２３名もの方におこしいただき、うれしい驚きでした。７月２１日は土用の丑の日で暦（二十四節気）が大暑となる前日（小暑の最後）でしたが、まさに真夏を感じる日でした。
夏の日に植物がどんな状態でいるのかについて我々は意外なほど無頓着だ、という前提に立ち、花の春と実りの秋にはさまれた夏とはどんな季節であるかを感じる日になりました。出会った植物は、
オニユリ、ヤブミョウガ、ウバユリ、ヤマコンニャク（結実中）、イヌビワ（結実中）、ヤマブキ（狂い咲き）、オニユリ、オオハンゲ（開花、結実中）、ハンゲショウ（結実？中）、ツユクサ、ムラサキツユクサ、ミゾカクシ、シロネ、ミソハギ、アオギリ（結実中）、エンジュなどです。
湿度の高い場所に咲く花や、水辺に咲く花がとても多いことがわかっていただけると思います。北海道などを除けば、高温多湿こそ日本の夏でしょうが、意外なほど実りの時季を迎える植物が多いと思います。植物たちの夏のすがたを体験してもらえたでしょうか。

ガイド：今村彰生さん（総合地球環境学研究所）

**☆ガイドレポート：昆虫編**

今回であった昆虫などのリストです。
ゴマダラチョウ、ツバメシジミ、アオスジアゲハ、モンシロチョウ、ヒメウラナミジャノメ、コミスジ、コシアキトンボ、ウスバキトンボ、モノサシトンボ、ニイニイゼミ、アブラゼミ、クマゼミ、セイヨウミツバチ、コガタスズメバチ、ナミテントウ、カナブン、ハンミョウ、エノキハムシ、ヒメコガネ、ノコギリクワガタ（死骸）、ゾウムシの一種、ヨコヅナツチカメムシ（幼虫）、アオバハゴロモ、オオカマキリ（幼虫）、アリの行列、アシダカグモ、ニホンカナヘビ、オオケマイマイなど
近所のかたによると夜アオバズクが啼いているそうです。

ガイド：京都大学農学研究科昆虫研有志

**☆参加者の感想**

参加者の感想文です。実名・匿名の指定がないかたはすべて匿名にいたしました。ご了承ください。

* 初めて見る植物が多くて楽しかったです。昆虫がたくさんいるのも見どころですね（蚊を除いて・・・） （初めて参加したかた）
* 好きな物同志ワイワイガヤガヤがよかった。　　　　　　　　　　（地球圏宮島敏明さん）
* 一般の参加者の方々もとてもくわしくてびっくりします。互いに知識を交換されてるようでうらやましく思います。　　　　　　　　　　（京大情報学研究科のかた）
* 夏季の植物の生態が良くわかって良かった。　　　　　　　　　　（近所のかた）
* ハンゲショウの「その後」が見られたのが面白かったです。　　　（京大学部生のかた）
* ３ヶ月ぶりの植物園での観察会。今回で５度目の入園です。季節が違うと景色が違っていて、季節の移り変わりの中から「生命」を感じる事ができますお昼休みの観察会はちょっと短くてあわただしいけれど、とても有意義でした。　　　　　　　　　　　　　　　（地球圏のかた）